

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300450
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム 太陽の家
所在地	鹿児島県鹿屋市今坂町12405番地25 (電話) 0994-44-6581
自己評価作成日	平成29年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

保育園が隣接しており、毎日保育園児や学童の子供達の笑い声を聞いたり、園庭で遊んでいる姿を目にする事ができ、安らげる場所になっていると思います。居室はホールを取り巻くように配置され、人の気配が常に感じられる環境になっています。運営者は、太陽のごとく我が身を焦がして、万物に恵み(愛)をとの思いで「太陽の家」と命名し、高齢者福祉と幼児教育・園芸福祉に力を注いでいます。職員はその理念のもと、入居者様に和顔・愛語で接し、入所者様に安全と安心を提供出来る介護と、その方の思いに沿った介護が出来る様に日々真心込めた介護を行っています。また、重度化した場合、当ホームの基本的な考え方は、認知症という疾病にお付き合いするのではなく、たまたま、認知症を抱えてしまったその方の人生にお付き合いするものと考えています。したがって、たとえ介護度は重くなるうろと、心身の疾病が悪化しようとも、その方がホームでの生活の継続を希望し、家族の理解を得られた場合は、最後の看取りまでお付き合いさせていただきたいと考えています。

- ・当グループホームは、入居者の立場に立ち、地域に密着した支援が行われている。職員は質の高いケアを目指して取り組んでいる。
- ・法人は県内に複数のグループホームを運営し、幼児教育や高齢者福祉等で社会に貢献している。
- ・地域との交流や地域サロンに職員や入居者が参加して協力体制を構築している。ホーム主催のオレンジカフェは、認知症についての話や栄養面の話等、参加者も多く内容が充実している。サポートワーカーとして在宅支援も行っている。
- ・個別の便りの発送や家族会で入居者のスライドショー、家族間の連絡網作成の計画、運営推進会議の家族の意見の反映、年3回の家族会等で、家族との連携を密にしている。
- ・同法人の運営する保育園が隣接しており、にぎやかな声が聞こえ、日常的に楽しい触れ合いがあり、利用者は元気づけられている。
- ・24時間医療連携体制が整っており、看取りケアの事例がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に根差した共同生活居住を理念に揚げ理念に沿った介護目標をホーム内に掲示し介護の基本となるように努めている。	地域密着型を踏まえた理念があり、それに沿って介護目標を掲げ、ホーム内に掲示し重要事項説明書にも記載している。職員会議で確認し合い実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入して地域の祭りや行事・奉仕活動に参加している。町内のサロンに参加したり、オレンジカフェを毎月開催し、地域の方に参加して頂いている。	町内会に加入して、回覧板や清掃活動・夏祭り等に参加したり、保育園が隣設で園児と交流している。地域サロンやオレンジカフェでも地域の参加者と一緒に、工作や認知症の理解・栄養面の話を聞いたりして交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内のサロンに参加したり、毎月オレンジカフェを開催し、認知症の話しや管理栄養士による栄養指導などを行っている。 (管理栄養士は、入居者家族)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者の状況を報告し改善点を話し合いサービスの向上に生かしている。</p>	<p>会議は定期的開催し、事業所の運営状況や事故・外部評価の報告・研修報告等を行い、意見交換をしている。介護者の負担軽減の件や入浴で機械浴の提案・避難訓練時の家族連絡網の検討などがあり、意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議で事業所の取り組みを報告し事業所に必要な情報を得ている。感染対策や防災マニュアルについて助言を頂いている。</p>	<p>市担当者とは窓口に出かけ相談したり、事業所の運営推進会議に参加してもらい、日頃から取り組み状況を報告し相談やアドバイスを受けている。キャラバンメイト養成講座に講師依頼があったり、市主催の研修会に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会で居室をラウンドし身体拘束につながる物は無いか確認し合っている。</p>	<p>身体拘束委員会を2ヶ月に1回開催し、マニュアルを基に具体的な事例を出して勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉の拘束にも気をつけている。昼間は玄関の鍵はしていない。外に出たい利用者には、職員と一緒に同行して話をしながら散歩している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングや勉強会を取り入れ全職員で理解を深め虐待防止に心がけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ミーティングや勉強会を取り入れ全職員で理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約は十分時間をかけて重要事項や計画書に基づきホームの理念や介護に関する考え方を伝えている。改定時は家族会を開き説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年3回家族会を開催し、家族の意見や気づきを出して頂き、運営に反映させている。</p>	<p>利用者には日常の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会時や家族会時に積極的に話しかけ意見が出る雰囲気づくりにも努めている。アンケート等でも意見を聞いている。味噌汁をマグカップに、ご飯をおにぎりにしたら食べやすい等の要望があり、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングで意見や気づきを出してもらったり、年2回個人アンケートをとり意見や提案を出してもらい、管理者会議で提案したり、施設長に報告している。</p>	<p>職員は個別の年間目標を立てて、ミーティングで意見を聞いたり、アンケートをとり、意見や提案を聞いている。年2回の面談を行い相談や目標の進捗状況等を聞いている。支援についてやトイレの増設等の意見があり、できる事から運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は毎月管理者会議で運営状況や職員の状況を把握し、職場環境や条件などの整備を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に職員が参加出来るように配慮されている。また、働きながら実務者研修等の受講ができるように受講料に一部援助を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>介護サービス事業所連絡協議会の加入し、職員が交流会に参加出来るように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と面談し、心身の状況や生活歴、既往歴要望・課題等を把握する。また、事前にホームの見学に来て頂き入居時の不安を和らげるように配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に介護状況や御苦勞や悩みなどをお聞きしホームの理念や介護に関する考え方サービス内容などを説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の段階でグループホームの入居が妥当かどうかの視点で入居を決定する。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事や季節の行事や料理など生活面で入居者から教えて頂く機会を意図的に作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>夏祭り・クリスマス会など一緒に過ごす機会を設けたり、家族と一緒に外出するなど、家族の役割をケアプランに位置付けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>買い物や散歩など外出の支援や家族と墓参りや外出などの支援をしている。</p>	<p>行きたい所の希望を聞いて出かけている。友人や知人の面会や家族が昔馴染みの知人を連れて面会に来たり、美容室や墓参り・馴染みの店に買い物に出かけている。職員が同行することもある。年賀状の介助も支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合うお友達とおしゃべりが出来るように座る位置を考えたり、職員がお茶やレクと一緒に参加して会話が弾むように支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要な方は退去後介護相談を受けている、また入院中の方はお見舞いをして状況を把握している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や家族の情報を参考に日常の何気ない会話や表情などから本人の思いを把握するように努めている。得られた情報は申し送りノートやミーティングで共有している。	日常の生活状況の中で利用者の言葉やしぐさなどから思いを把握している。職員からの申し送りやユニット毎のミーティングで気づきを記録して職員で共有している。意思疎通が困難な場合は家族の情報や職員間で話し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴を家族の面会時に聞いたり、本人との談笑のなかで昔話を聞いたりして、本人のこれまで生き方や考え方を聞きだすように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月のミーティングで一人ひとりの生活状況や気づいた事をスタッフ間で共有している。また、毎日の申し送りの中で一人ひとりの状況を確認している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状態や生活歴を把握し家族の思いを聞き職員の気づきを交え介護計画を作成していく。	本人や家族の意向や課題を聞き、主治医の意見を入れて職員間で話し合った意見やアイデアを反映させ、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況変化の場合その都度見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の様子やケアの結果を個人記録に記載し職員間で情報共有しながら、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個人に必要な日用品の購入や買い物支援、通院の支援をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>そうめん流しやみかん狩り。バラ園・コスモス見学・かやの郷へ買い物に行っている。また、慰問なども取り入れている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の主治医の通院支援を行ったり医療連携の為に情報提供を行っている。又、往診の体制もあり、24時間の医療連携が整っている。</p>	<p>本人や家族が希望する医療機関をかかりつけ医にしている。24時間の医療連携体制が整っており、夜間や緊急時なども連携がとれるようになっている。歯科は訪問診療であり、他科受診や通院介助は、職員か家族が対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日中の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員がとらえた情報や気づきを看護職員に相談している。看護職員も常勤で勤務しており24時間対応出来る体制である</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時介護サマリーを添付し入院前の状況を伝え入院中主治医や担当看護師、医療相談員と連絡を取り早期退院が出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に看取り指針の説明を行い同意を得ている。重度化の場合は主治医と家族と会し今後予測される経過を説明し終末期に向けた方針を話し合い、職員家族と主治医と共有しながら、看取りに取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を入居時に説明し同意を得ている。症状が進行した場合は、家族と主治医・職員で話し合いを重ね、家族の方針や意向を確認し支援に取り組んでいる。看取りケアの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に1回救命救急の訓練をしている。また、内部研修に緊急時の対応の勉強会を取り入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防火訓練や避難訓練を行っている。緊急装置に地域の住民にも連絡がいく体制になっている。</p>	<p>消防署の指導のもと、昼夜想定して避難訓練を年1回実施し、通報訓練や消火訓練等を行っている。地域の協力体制もあり、緊急連絡網の中に入っている。救急救命訓練も実施している。自主訓練を年2回行っている。ヘルメットやAED・懐中電灯も常備している。災害時の米や水等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>尊厳や権利を守りさりげない声かけにてプライバシーを損ねない支援をしている。</p>	<p>マニュアルを作成し、対人援助のプロとして、人格を尊重し、権利を侵害しないように勉強会をしたり実践の中で職員間で注意し合っている。トイレ誘導時のさりげない支援や入室時のノック・声かけのトーン等、優しく丁寧な話し方にも気配りしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者の気持ちや権利を守る事を重視し、声掛けや対応を行っている。入居者の誇りやプライバシーを損ねないように、声掛けに配慮している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の一人ひとりの体調を配慮しながら、入居者の生活リズムにあわせて、食事や入浴、レクリエーションなどを行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>訪問美容院2ヶ月に1回の支援をする、随時汚れた衣服は更衣する。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきやしたごしらえ、食器あらいなど、個々の力量に応じて行っている。季節毎の行事食など、食事を楽しめる様な取り組みをしている。又、一人ひとりに合わせた食事形態も工夫している。	食事が楽しみなものになるように、嗜好を聞いたり、何を食いたいか声かけしている。利用者と一緒に、つわの皮むきや下ごしらえ・食器洗い等を行っている。食べやすいように食事形態にも配慮している。嚥下体操や季節毎の行事食・家族と外食・焼き芋の差し入れ等、食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量や水分量をチェックし、職員が情報を共有している。必要に応じてその人に合った飲み物を提供し、必要な摂取量が確保できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けや口腔ケアを行っている。うがいを出来ない方は、歯磨きシートを使用している。就寝前は、義歯の洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意便意の無い方も、排尿パターンを把握し、適宜トイレ誘導をして、トイレでの排泄が出来るように支援している。	自分でトイレへ行きたいという思いを大切に支援している。プライバシーに配慮し、排泄チェック表での排泄パターンを把握し、しぐさなどで察知しトイレ誘導している。排泄物の様子観察もしている。水分補給や食生活にも注意している。リハビリパンツから布パンツに改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便管理を行い、個々にあった便秘対策を検討し実施している。毎朝排便習慣を付けるようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者のその日の体調や希望を確認して、入浴を支援している。入浴を嫌がる人は、入浴のタイミングを見て入浴して頂いている。	入浴は週3回偶数日に行っている。体調や希望に沿って柔軟に支援している。機械浴も導入している。入浴剤を使用したり、保湿ケアをしている。着脱室の室温の調整、着替えの選別など、事前準備をしながらコミュニケーションをとり、リラックスできるように配慮している。入浴を拒む利用者には、時間を変えたり、タイミングを見て声かけして無理のないように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間・就寝時間はその方のペースに合わせている。又、個々の疲労度や体調を観察して、昼寝や居室での休息を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や薬の説明書を整理し、全職員が見ても内容を把握できるようにしている。変更があった場合は、申し送りノートを活用し、与薬時はダブルチェックしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるように出来そうな事をお願いして感謝の言葉を伝えている。巻き寿司やそば打ち、餅つきなど、経験や知恵を発揮できる場面を作っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホーム周辺の散歩や、テラスでのお茶や日光浴を楽しんでいる。又季節毎、花見やバラ園見学、みかん狩りなど、外出を計画し実施している。	その日の希望により体調や天候を見ながら、ホームの周辺の散歩やテラスで外気浴・公園等に出かけている。ドライブで日頃行けない所まで出かけ、車中でコミュニケーションを取っている。家族とは店に行ったり外食をしたりしている。季節ごとに計画をたて弁当を用意して花見やみかん・ぶどう狩り・バラ園等へ行き、道の駅にも寄ったりして楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の支援で小額のお金を所持している方もいる。家族よりお金を預かって、ホームで管理し買い物に行く時は、本人が使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族より電話が来たり、本人から要望があった時は、電話をかけられるように支援している。たま、遠方の方にも太陽の家便りを送付している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの天井が高く自然光が取り入れられるようになったおり、明るい雰囲気である。壁画で季節感を感じられるように季節毎に壁画を替えている。	共用空間は天井が高く天窓があり、採光が柔らかい。温度・湿度もエアコンや加湿器などで空調設備が整い快適である。木の温もりがあり。ソファが置かれている。壁には利用者の作品や行事の写真を飾り、代表者の温かい思いの言葉が掲げてあり、居心地よく過ごせる様に工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのテーブルやソファの配置を考え会話が出来やすいように支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真・仏壇などや馴染みのものを置き居心地が良い居室作りを心掛けている。	居室は洗面台やベッド・整理タンス・クローゼット・空気清浄器が設置してある。自宅で使用していたテレビやぬいぐるみ・暦・時計・観葉植物・家族写真等が持ち込まれている。仏壇や位牌が置かれたりして個性的である。床は転倒防止に配慮した素材で、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、居室は解りやすく目印をつけたり、手すりを設置している。状況にあわせて、洗濯物たたみ、台所仕事を無理なく出来るように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない	

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない